

ウォーキング用のマップです。このままプリントアウトしてご利用ください。

①②③・・・の数字付きのスポットについては、「みどころガイド」で詳しくご紹介しています。



兵庫の大ベそ?! 姫路城探検

全ルート

ルートA

(約 0.7 km)

ルートB

(約 0.8 km)

ルートC 大天守内～腹切丸

(約 0.7 km)

ルートD

(約 0.8 km)

※各ルートの歩程距離は、
個人差がありますので
目安としてご利用下さい。

交通アクセス

JR姫路駅・山陽電鉄姫路駅からバスで
約5分、徒歩約15分

【姫路市営バス】

JR姫路駅前(北側)より

①駅北2番乗り場/「8番・書写駅行」
「9・大池台行」「10・好古学園行」で
姫路城・大手門バス停下車、徒歩すぐ

②駅北西乗り場/「3番・見野古墳群循環」
で姫路城・大手門バス停下車、徒歩すぐ

【観光ループバス】

運行日:土・日曜、祝日(1月1日～3日連休)
運行時間:9時(始発)～17時(最終)/1日
27回運行

※15分～30分間隔で運行
料金:1回/大人100円、小人50円
(6歳～小学6年生)

1日券/大人300円、小人150円

※1日券の提示で施設利用料の2割引あり→
姫路城・好古園・姫路市立美術館(常設展のみ)
・姫路文学館(常設展のみ)



◎ポッドナビゲーター

ばんば るみお
馬場 章夫 (MBSラジオパーソナリティ)

※ 当サイトの内容・画像等の無断コピー・転載をお断りします。

兵庫の大べそ?! 姫路城探検

見どころガイド

日本一の名城ともいわれる姫路城は、日本で初めて奈良県・法隆寺とともに平成5年(1993)、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の世界遺産リストにその名が登録されました。

近世城郭建築を代表する安土桃山時代の城は、軍事的・芸術的に最高とうたわれ、その代表格として姫路城があげられます。

特に要塞としての機能を決定づける“縄張り”^{なわばり}が特徴の名城として知られています。

別名白鷺城^{しらさぎじょう}の名の通り、城の外観が白漆喰^{しろしっくい}に塗りつくされているため、

昔は街道や、播磨灘^{はりまなだ}の海上からでも美しい姿を誇っていたと言われています。

また、松の間から城の白さが映えたとき、白鷺の群生が松にとまっているように見えることから、その名で呼ばれたとも伝えられています。



姫路城の規模

◆大天守の高さ◆

姫山(標高45.6m)・石垣大天守台(14.85m)・大天守建物(31.5m)=合計海拔約92m

◆面積◆

内曲輪(うちくるわ)以内の面積:約23ha(230,000m²)

外曲輪(そとくるわ)以内の面積:約233ha(2,330,000m²)

※内曲輪の面積を甲子園球場のグラウンド部分(14,700m²)と比較すると、約15.6倍

甲子園球場のスタンド部分も含めた球場全体(39,600m²)と比較すると約5.8倍



ご案内

時 9時～17時(入城は16時まで) ※6月～8月は1時間延長

料 大人600円、満5歳～中学生200円

※毎年1月1日と4月6日(しらの日)は無料。

※4月6日の前後に、非公開部分を公開する「姫路城特別公開」もあり

★姫路城+好古園^{こうこえん}共通券:大人720円、小・中学生280円

★姫路城+博物館+美術館共通券:大人800円、高校・大学生720円、小・中学生320円

休 12月29日～31日

問 姫路城管理事務所 079(285)1146



兵庫の大べそ?! 姫路城探検

見どころガイド



① 姫路城見学資料室

姫路城の歴史の概略や年表、見どころの紹介パネルなどが展示されています。登城する前に姫路城の概略を予習する為に立ち寄りたい資料室です。世界遺産登録認定書の複製も展示されており、おそらく複製(姫路城の認定書)はここだけでしか見れないとか。この機会にぜひ見ておくのがオススメです。

時 9時～17時頃 (休) 12月29日～31日

問 姫路城管理事務所 079(285)1146

② 菱の門

二の丸の入り口を固めた櫓門で、城内で最も大きな門です。両柱の上の冠木(門の上にある両方の柱をつらぬく横木)に木彫りの“菱”の紋があることから門の名が付けました。安土桃山時代の様式から、伏見城の移築説もありましたが、解体修理のときに違うことがわかりました。どっしりとした風格ある門構えが出迎えてくれます。



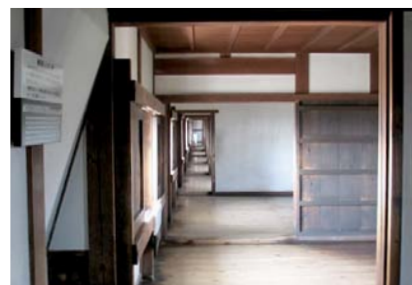
③ 西の丸

徳川時代、本多忠政が嫡男・忠刻と、二代将軍徳川秀忠の娘・千姫がのどかに過ごすために築いたのがこの西の丸といわれています。

④ 西の丸長局(百間廊下)

御殿を囲むように造られた300mもの長さの櫓は、西の丸の中書院にあたる場所です。千姫に仕えていた侍女たちの住む場所があったと伝えられています。実際は軍事要塞としての機能を持った櫓です。

長い廊下沿いには、石落としなどの仕掛などもあり、窓の外から望む男山からの敵の襲撃に備えていたといわれています。



⑤ 化粧櫓

千姫が本多忠刻に嫁ぐときに将軍家からもらった10万石の化粧料で建てた櫓と伝えられています。また城の北西にある男山には男山八幡宮があり、その中腹に千姫によって建てられた千姫天満宮があります。朝夕、西の丸長局の廊下から天満宮を拝んでいたとか。そのときの休息所として、この化粧櫓にある部屋が使われていたそうです。今では、千姫とその娘、勝姫の人形が貝遊びをしている姿が展示されています。

兵庫の大べそ?! 姫路城探検

見どころガイド

⑥ 姫路城の門

うちくるわ

内曲輪の城郭建築が、ほぼ当時のまま残されている姫路城。

門もそのひとつです。それぞれの門が軍事要塞としての役割と機能をもっています。



てんよういし
▲転用石

●はの門

門の向こうに天守閣が見え、敵にすぐ近くと錯覚させるように造られています。

門扉の天井(門の上にある檣の床面)には石落としがあり、

敵が攻め入ってきたら攻撃できる仕組みになっています。

また、門右端の柱の礎石は、^{そせき}燈籠の^{とうろう}台石^{だいいし}であったもので、建造のときに使われたものです。このような石を^{てんよういし}転用石^{てんよういし}といいます。



あぶらかべ
●ほの門・油壁

本丸の入り口にある門。

鉄板の門扉は、鉄砲による攻撃に備えるためのもの。

また、内側にある油壁は秀吉時代までさかのぼり、

粘土と豆砂利を混ぜ、米のとぎ汁で固めた壁です。

ちなみに門が低いのは、万一のときに油壁を壊して

門の入り口を埋めやすくするための設計だとか。



あぶらかべ
▲油壁

●備前門

屋敷門のような簡易な門。

本丸の^{いつかく}一郭^{いけだて}である池田輝政の住む備前丸へ^{まさ}と入ることから、

この名がついたと考えられます。

備前の名前は、息子である忠継が備前国を与えられ、

幼いために両親とこの備前丸に住んでいたために

そう呼ばれていました。



⑦ 姥が石

うば

はしばひでよし
羽柴秀吉(のちの豊臣秀吉)築城のときに、
貧しい老婆が石臼^{いしうす}を寄進しました。

噂は町中に広まりたくさんの石が集まり、
城の石垣が完成したと伝えられています。



⑧ 腰曲輪

こしくるわ

ゆるやかなカーブを描いた建物は、

他の城郭にはない独特の造りです。

戦^{いくさ}になったときに籠城^{ろうじょう}できるように

塩や米などを蓄えていた建物です。

兵庫の大べそ?! 姫路城探検

見どころガイド

⑨ 大天守

ほぼ建築当時のまま残されている城として有名。外観は5重に見えますが、内部は地下1階、地上6階のスケールある構造で、戦に備えるための設備が整った要塞でもありました。天井や壁、柱などにも目をむけてみましょう。その名残が探せます。

<お城の構造>



● 心柱

地下1階から最上階(6階)まで全長24.6m、重さ約200トン、根本の直径約95センチの東西2本の太柱が、大天守を支えています。建築当時は、とても進んだ工法でした。

高層建築物・五重塔などの工法をとりいれていたとも考えられています。西の心柱は昭和の大修理で新材木に、東の心柱は地下1階部分だけがとりかえられましたが、そのほかは建築当時のまま残されています。

● 内室

屋根裏の部屋を内室といい、武者隠しや物置に使用されたものです。兵をしのばせ、城の警護にあたらせていました。



● 用具掛け

各階の柱や梁に、竹釘や鉄製折釘を並べ打ってあります。これには火縄や弾薬袋などの戦闘用具を掛けていたそうです。特に竹釘に掛けていた弾薬袋は、いざっ!という時に、そのまま袋をひっぱってとったとか。竹釘が折れるだけなので、掛けヒモをはずす手間は省略できたそうです。



● 刑部神社

最上階(6階)にある神社。もともとこの姫山に祀られていた地主神。築城の時に城外へと移されましたが、神様のたたりがあると城内に戻されました。また、この天守には妖怪が棲んでいたといわれ、剣豪・宮本武蔵の妖怪退治の逸話も伝わっています。



兵庫の大べそ?! 姫路城探検

見どころガイド



10 はらきりまる 腹切丸

この場所は井戸曲輪で、搦手(城の裏にある出入口のこと)を守る大切な役割をもっていました。

しかし、その造りがあたかも切腹における検視役の席、首洗いの井戸などに見えることから、腹切丸と呼ばれるようになりました。

11 お菊井戸

怪談『播州皿屋敷』でおなじみの井戸です。

悲劇のヒロインお菊は、家宝の皿10枚のうち1枚をなくしたと濡れ衣を着せられ責め殺されたあげく、この井戸に投げ込まれたといわれています。

お菊の幽霊が化けて出るのにちなんでお菊井戸の名がつけましたが、元々は釣瓶井戸と呼ばれていました。



12 おうぎ こうばい 扇の勾配

扇を開いたような美しい曲線に目を奪われますが、実はこの曲線は上にいくほどそり返っていることにより、攻め入ろうとする敵がよじ登るのを防ぐ働きをします。堅固な守りを可能にした石垣です。

13 さんごくぼり 三国濠

菱の門から敵の侵入を防ぎつつ、溜池としての機能も併せもつ濠です。三国濠の名は、池田輝政の領国であった播磨・備前・淡路の三国にちなんだものといわれています。



兵庫の大べそ?! 姫路城探検

見どころガイド

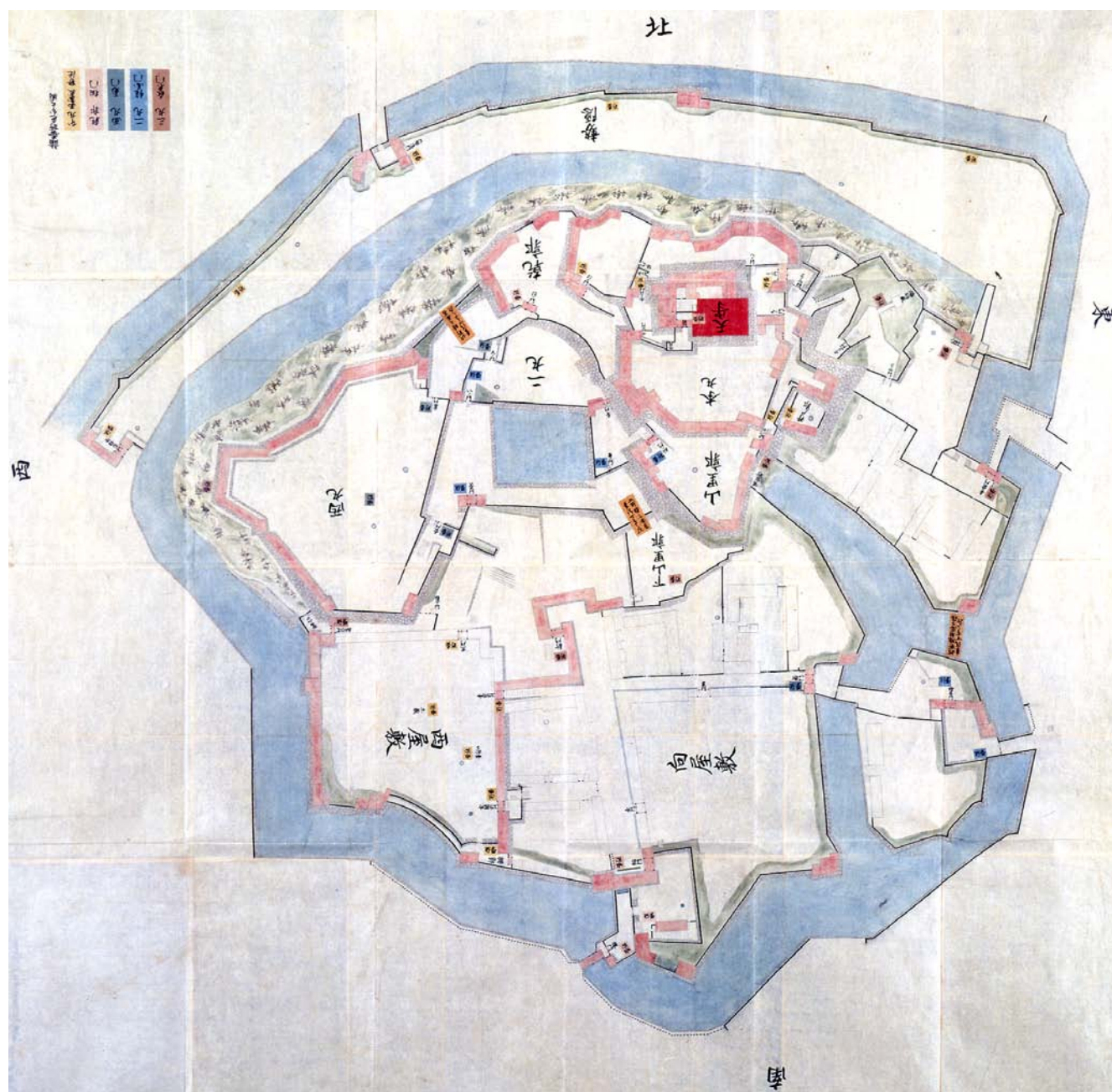
江戸時代の姫路城下と城内の古地図です。
実際に見くらべながら歩いてみましょう!

4

しよばんしよいろわけのず 姫路城内図(諸番所色分之図)

ふだん、城を警備する人が詰めている“番所”の配置図です。

寛文7年(1667)～天和2年(1682)カ(姫路市立城郭研究室蔵)



兵庫の大べそ?! 姫路城探検

見どころガイド

江戸時代の姫路城下と城内の古地図です。

実際に見くらべながら歩いてみましょう!

4

姫路侍屋敷図

城下にどんな侍がいるかがわかるようになっています。

現在の住宅地図・住所録と同じような役割をしていました。

文化13年(1816)以前のもの(姫路市立城郭研究室蔵)

